

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	力学の活用実践	
科目基礎情報						
開設学科	機械設計科	コース名		開設期	後期	
対象年次	2 年次	科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4 単位	授業形態	講義・演習			
教科書/教材	教科書：機械設計技術者のための基礎知識 毎回資料、演習問題を配布					
担当教員情報						
担当教員	井野川富夫			実務経験の有無・職種	無	
学習目的						
機械設計時に必要な機械力学、材料力学、流体力学および、熱力学の演習問題を解きながら、実践的計算力を身に付ける。						
到達目標						
機械設計時に必要な機械力学、材料力学、流体力学および、熱力学の実践的な計算問題を解いて、設計における色々な問題を解決できるようになることを目標とする。						
教育方法等						
授業概要	1 年次、2 年次前期で学んできた機械力学、材料力学、流体力学および、熱力学の知識をもとに、機械設計時に必要となる実践的な計算問題を演習形式で学ぶ。					
注意点	物理学である4力学（機械力学、材料力学、流体力学および、熱力学）の実践的計算問題を学ぶ。そのため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、積極的に取り組み、理解を深めることに心掛ける。ただし、授業時数の4 分の3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	0%				
	成果発表 （口頭・実技）	0%				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1 回～1 5 回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1 回	材料力学演習		応力、ひずみに関する実践的な問題が解けるようになる。			
2 回	材料力学演習		はりに関する実践的な問題が解けるようになる。			
3 回	材料力学演習		せん断応力、曲げモーメントに関する実践的な問題が解けるようになる。			
4 回	機械力学（静力学）演習		力の釣り合い、摩擦力に関する実践的な問題が解けるようになる。			
5 回	機械力学（静力学）演習		モーメントの釣り合いに関する実践的な問題が解けるようになる。			
6 回	機械力学（動力学）演習		運動エネルギー、動力に関する実践的な問題が解けるようになる。			
7 回	機械力学（動力学）演習		振動に関する実践的な問題が解けるようになる。			
8 回	流体力学演習		圧力、パスカルの原理、レイノルズ数に関する実践的な問題が解けるようになる。			
9 回	流体力学演習		連続の式、ベルヌーイの定理に関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 0 回	流体力学演習		流体機械、管路内の流れに関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 1 回	流体力学演習		物体に作用する流体の力に関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 2 回	熱力学演習		温度、熱量、動力に関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 3 回	熱力学演習		熱サイクルに関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 4 回	熱力学演習		熱移動に関する実践的な問題が解けるようになる。			
1 5 回	熱力学演習		蒸気に関する実践的な問題が解けるようになる。			